

二次元コードリーダー パラメータ設定ガイド

対応機種

MODEL 1504(A)/1704 二次元コードリーダー
MODEL 1564(A)/1764 ワイヤレス二次元コードリーダー
MODEL 2504 二次元コードリーダー
MODEL 2564 ワイヤレス二次元コードリーダー



ウェルコムデザイン株式会社

U R L : www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250 (代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より3年間(但し、二次元コードリーダーは1年間)とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害(ラジオ・テレビなどの受信障害)が起ることがあります。

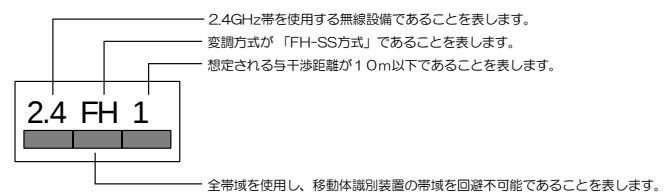
「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。

■ 電波の種類と干渉距離 ■



「レーザーに関する注意」



IEC Class II

I型として IEC 60825 クラス II 準拠のレーザーを使用しています。読取窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。

安全上の注意

- ◇ ご使用の前に本書をお読みにになり、正しく安全にご使用ください。
- ◇ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属の AC アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ AC プラグ や電源コード を引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ AC プラグ や電源コード が傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず 0~40℃ の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い 0~40℃ の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	8
2. システムコマンド	9
2.1. 基本システムコマンド	9
2.2. パラメータ設定値出力コマンド	10
3. リーダの簡単セットアップ	11
3.1. インターフェイスの初期化	11
3.1.1. USB キーボード インターフェイスの初期化	11
3.1.2. USB パーチャル COM(USB-COM)インターフェイスの初期化	12
3.1.3. キーボード インターフェイスの初期化	13
3.1.4. RS232C インターフェイスの初期化	13
3.1.5. BT-HID インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)	14
3.1.6. BT-SPP スレーブ インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)	14
3.1.7. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)	15
3.1.8. Bluetooth PIN コードの初期化	17
3.2. プリフィックス/ポストフィックスの初期化	18
3.2.1. プリフィックス:無し/サフィックス:無し	18
3.2.2. プリフィックス:無し/サフィックス:CR(Enterキー)	18
3.2.3. プリフィックス:無し/サフィックス:Enterキー(Enterキー)	19
3.2.4. プリフィックス:無し/サフィックス:TABキー	19
3.2.5. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 CTRL)	20
3.2.6. プリフィックス:無し/サフィックス:実行キー(右 ALT)	20
3.2.7. プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF	21
3.2.8. プリフィックス:STX/サフィックス:ETX	22
4. 一般動作に関するパラメータ	23
4.1. グットリード LED/パルスレション	23
4.2. グットリード LED/パルスレションの長さ	23
4.3. ビープの音量	24
4.4. グットリードビープの音色	24
4.5. グットリードビープの長さ	25
4.6. ノーリード (NR)送信	25
4.7. オートパワーオフ	26
4.8. パワーセーブ (無線式のみ)	27
5. 読取動作に関するパラメータ	28
5.1. トリガモード	28
5.2. 読取タイムアウト	29
5.3. イミッジタイムアウト	30
5.4. デコードデレイ	31
5.5. 同一コード読取デレイ	31
5.6. 初 (反転)バースコード	32
5.7. 読取照合回数 (一次元バースコードのみ)	32
5.8. 一次元バースコードファグデコードインジ	32
5.9. アドオコード読取照合回数	33
5.10. リーダの動作に関する設定	34
5.10.1. イミッジパター	34
5.10.2. デコードインジ照明	34
5.10.3. スマートフォン液晶画面読み取り	35
6. インターフェイスに関するパラメータ	36
6.1. ケーブル自動判別によるインターフェイス切替	36
6.2. キーボードインターフェイス	37
6.2.1. キーボードタイプ	37
6.2.2. CAPS ロック	38
6.2.3. アルファベット送信	38
6.2.4. 数字送信	38
6.2.5. 漢字送信	39
6.2.6. ALT シーケンス	39
6.2.7. 外付キーボード接続	39
6.2.8. キャラクタ間送信デレイ	40
6.2.9. ファンクション間送信デレイ	41
6.3. RS232C インターフェイス	42
6.3.1. ボーレート	42
6.3.2. データビット	42
6.3.3. パリティ	43
6.3.4. ストップビット	43
6.3.5. フロー制御	43
6.3.6. キャラクタ間送信デレイ	44
6.3.7. ファンクション間送信デレイ	45
6.3.8. ACK/NAK タイムアウト	46
6.3.9. ACK/NAK リターンビープ	46
6.4. USB キーボード インターフェイス(HID)	47
6.4.1. キーボードタイプ	47
6.4.2. CAPS ロック	48
6.4.3. アルファベット送信	48
6.4.4. 数字送信	48
6.4.5. 漢字送信	48
6.4.6. HID 送信モード	49
6.4.7. キャラクタ間送信デレイ	49

6.4.8. ファクション間送信デレイ	50
6.5. USB バーチャル COM インターフェイス (VCP)	51
6.5.1. ファクション間送信デレイ	51
6.5.2. ACK/NAK タイムアウト	52
6.5.3. ACK/NAK リトライ	52
7. 読取コードに関するパラメータ	53
7.1. コーダバード (NW7)	53
7.2. インタストリアル 2/5	55
7.3. インタリーブド 2/5	56
7.4. マトリクス 2/5	58
7.5. コード 39	60
7.6. コード 93	62
7.7. コード 128	63
7.8. ISBT-128	63
7.9. GS1-128 (EAN-128)	64
7.10. GS1 Databar (RSS)	65
7.10.1. GS1 Databar Omnidirectional (RSS-14)	65
7.10.2. GS1 Databar Expanded (RSS Expanded)	66
7.10.3. GS1 Databar Limited (RSS Limited)	66
7.11. MSI	67
7.12. EAN-8 (JAN-8)	69
7.13. EAN-13 (JAN-13)	70
7.14. UCC クーポンコード	70
7.15. UPC-A	71
7.16. UPC-E	72
7.17. コンビジットコード	73
7.18. 郵便コード	74
7.18.1. US 郵便コード	74
7.18.2. UK 郵便コード	74
7.18.3. 日本郵便コード (加付コード)	74
7.19. 二次元コード	75
7.19.1. PDF417	75
7.19.2. MicroPDF417	75
7.19.3. DATA MATRIX	75
7.19.4. MAXICODE	76
7.19.5. QR コード	76
7.19.6. MicroQR コード	76
7.19.7. AZTEC	76
7.20. Macro PDF	77
7.20.1. 送信データコードモード	77
7.20.2. イスケープキャラクタ	77
7.20.3. コントロールタグ送信	77
8. データフォーマットに関する設定	78
8.1. 大文字・小文字変換送信	78
8.2. キャラクタ置換	79
8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシリアル	80
8.3. フリックス/グラフィックス	84
8.4. コード ID	85
8.4.1. ユーザーコード ID	86
8.5. 読取データ桁数	91
8.6. マルチバーコードデータ	94
8.6. 指定キャラクタ削除	96
9. データ編集機能に関する設定	97
9.1. 編集パターン設定開始	98
9.2. 適用条件	99
9.2.1. 適用するシリアル	99
9.2.2. 適用するデータ桁数	103
9.2.3. 適用する照合文字列	104
9.3. フィールド分割定義	105
9.4. フィールド送信順序	112
9.5. 編集パターンの有効化	113
10. XEリ機能	114
10.1. 通信圏外XEリ機能	114
10.2. バッチモード	115
補足 A キーボードコード表 & ASCII コード表	116
補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード表	117
補足 C シリアルコード	118
補足 D トラブルシューティング	119
補足 E シリアルバーコード	120
修理依頼書	122

Blank page

1. はじめに

この度は、弊社 1504(A)/1564(A)/1704/1764 シリーズ 二次元コードリーダ（以下、リーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、リーダのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドを読み取ることで、リーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

2. システムコマンド

2.1. 基本システムコマンド

コマンドバーコード	説明
 8647116687323180	<u>設定開始</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 109999	<u>設定終了</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 109993	<u>全デフォルト</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 109998	<u>設定キャンセル</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を元の状態に戻します。続けて、「設定終了」をスキャンすることで、元の状態のまま、設定モードを終了することができます。
 109986	<u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保存します。
 109987	<u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセットします。
 109997	<u>ファームウェアアップグレード</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、ファームウェアアップグレードモードになります。 <u>ファームウェアファイル</u> K1xxx_V*.shx/STD1xxx_V.shx
 109927	<u>USBブリッジファームウェアアップグレード</u> 左のコマンドバーコードをスキャンすると、USBブリッジファームウェアアップグレードモードになります。 <u>ブリッジファームウェアファイル</u> K1xxxBridge_V*.shx/STD1xxxBridge_V.shx

2.2. パラメータ設定値出力コード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コードバーコード	説明	デフォルト
 1 0 9 9 5 0	パラメータ設定値出力 パラメータ 1 出力内容 : インタフェース, プザ, その他バーコードリーダパラメータ	
 1 0 9 9 5 1	パラメータ設定値出力 パラメータ 2 出力内容 : プリフィックス, ポストフィックス, コード桁数送信(1/2)	
 1 0 9 9 5 2	パラメータ設定値出力 パラメータ 3 出力内容 : プリフィックス, ポストフィックス, コード桁数送信(2/2)	
 1 0 9 9 5 3	パラメータ設定値出力 パラメータ 4 出力内容 : 読取コード ID	
 1 0 9 9 5 4	パラメータ設定値出力 パラメータ 5 出力内容 : 読取コード (1/2)	
 1 0 9 9 5 5	パラメータ設定値出力 パラメータ 6 出力内容 : 読取コード (2/2)	
 1 0 9 9 5 6	パラメータ設定値出力 パラメータ 7 出力内容 : 読取コードパラメータ(1/3)	
 1 0 9 9 5 7	パラメータ設定値出力 パラメータ 8 出力内容 : 読取コードパラメータ(2/3)	
 1 0 9 9 5 8	パラメータ設定値出力 パラメータ 9 出力内容 : 読取コードパラメータ(3/3)	
 1 0 9 9 5 9	パラメータ設定値出力 パラメータ 10 出力内容 : イメージャパラメータ, ビデオサインキャプチャパラメータ	
 1 0 9 9 3 7	パラメータ設定値出力 パラメータ 11 出力内容 : デイットフォーマット 1(1/2)	
 1 0 9 9 3 8	パラメータ設定値出力 パラメータ 12 出力内容 : デイットフォーマット 1(2/2)	
 1 0 9 9 3 9	パラメータ設定値出力 パラメータ 13 出力内容 : デイットフォーマット 2(1/2)	
 1 0 9 9 4 0	パラメータ設定値出力 パラメータ 14 出力内容 : デイットフォーマット 2(2/2)	
 1 0 9 9 4 1	パラメータ設定値出力 パラメータ 15 出力内容 : デイットフォーマット 3(1/2)	
 1 0 9 9 4 2	パラメータ設定値出力 パラメータ 16 出力内容 : デイットフォーマット 3(2/2)	
 1 0 9 9 4 3	パラメータ設定値出力 パラメータ 17 出力内容 : デイットフォーマット 4(1/2)	
 1 0 9 9 4 4	パラメータ設定値出力 パラメータ 18 出力内容 : デイットフォーマット 4(2/2)	
 1 0 9 9 4 5	パラメータ設定値出力 パラメータ 19 出力内容 : デイットフォーマット 5(1/2)	
 1 0 9 9 4 6	パラメータ設定値出力 パラメータ 20 出力内容 : デイットフォーマット 5(2/2)	

3. リーダの簡単セットアップ

3.1. インターフェイスの初期化

3.1.1. USB キーボード インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。(ケーブル式リーダー 1504(A)/1704)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100009	USB キーボード I/F 設定
 109907	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 109904	
 109994	確定
 109999	設定終了

※ 設定完了後、リーダーの電源をわにし、再立ち上げを行ってください。

上から順番に読み取ってください。(3656 ベーススタンド 経由)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100005	USB キーボード I/F 設定
 109907	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 109904	
 109994	確定
 109999	設定終了

※ リーダーとベーススタンドの接続を確立した上で初期化を行ってください。

※ 設定完了後、PC 及びベーススタンドの電源をわにし、再立ち上げを行ってください。

3.1.2. USB バーチャル COM(USB-COM)インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。(ケーブル式リーダ 1504(A)/1704)

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 8	USB バーチャル COMI/F 設定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

※ 設定完了後、PC 及びリーダの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

上から順番に読み取ってください。(3656 ベースタド 経由)

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 4	USB バーチャル COMI/F 設定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

※ リーダとベースタドの接続を確立した上で初期化を行ってください。

※ 設定完了後、PC 及びベースタドの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

3.1.3. キーボードインターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。(ケーブル式リーダー/3656バーコード共通)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100000	キーボード I/F 設定
 109901	キーボードタイプ 番号 12 日本語 106/109 キーボード
 109902	
 109994	確定
 109999	設定終了

- ※ 無線式の場合は、リーダーとバーコードの接続を確立した上で初期化を行ってください。
- ※ 設定完了後、PC 及びリーダー/バーコードの電源を切にし、再起動を行ってください。

3.1.4. RS232C インターフェイスの初期化

上から順番に読み取ってください。(ケーブル式リーダー/3656バーコード共通)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100001	RS232C I/F 115.2Kbps/8/N/1 ハンドシェイク無し
 100084	115.2Kbps → 9.6Kbps
 109999	設定終了

- ※ 無線式の場合は、リーダーとバーコードの接続を確立した上で初期化を行ってください。
- ※ 設定完了後、PC 及びリーダー/バーコードの電源を切にし、再起動を行ってください。

3.1.5. BT-HID インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。(無線式専用)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100006	BT-HID I/F 設定
 109907	キーボードタイプ番号 74 日本語 106/109 キーボード
 109904	
 109994	確定
 109999	設定終了

※ デフォルトでは、PIN コード認証は有効になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。

※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.8. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

既に接続済みの場合は、上から順番に読み取って、現在の接続を切断してください。

 8647116687323180	設定開始
 109919	接続切断
 109999	設定終了

3.1.6. BT-SPP スレーブ インターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。(無線式専用)

 8647116687323180	設定開始
 109993	全デフォルト
 100003	BT-SPP スレーブ I/F 設定
 109999	設定終了

※ デフォルトでは、PIN コード認証は有効になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。

※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.8. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

3.1.7. BT-SPP マスターインターフェイスの初期化(PC/PDA/Bluetooth Dongle経由)

上から順番に読み取ってください。(無線式専用)

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 9 9 9 3	全デフォルト
 1 0 0 0 0 7	BT-SPP マスター I/F 設定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

BDアドレスの設定

 8 8 6 8 6 4 7 1 1 6 6 2 5 4 BDアドレス設定 (設定開始/設定終了不要)	<u>接続先 BD アドレス設定</u> 左のワンコードをスキャンした後、続けて 10 秒以内に 0X で始まる BD アドレスを10コードしたワンコードをスキャンします。下記のワンコードは、BD アドレス 00D0176F0030 を10コードした場合の例です。「BD アドレス設定」「0X00D0176F0030」の順でスキャンします。  0 X 0 0 D 0 1 7 6 F 0 0 3 0
	BD アドレスを 16 進数ワンコードで設定したい場合は、代わりに  1 0 0 1 5 0 BD アドレス設定(16 進数) をスキャンし、続けて、次頁の「16 進数ワンコード」で BD アドレスを 16 進数でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。BD アドレス 00D0176F0030 の場合、「BD アドレス設定」「BD アドレス設定(16 進数)」「0」「0」「D」「0」「1」「7」「6」「F」「0」「0」「3」「0」「確定」の順でスキャンします。

- ※ デフォルトでは、PIN コード認証は初になっています。また、PIN コードのデフォルト値は、「0000」です。
- ※ PIN コードの変更を行いたい場合は、「3.1.8. Bluetooth PIN コードの初期化」を参照ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
100007	BT-SPP マスター I/F 設定	
109919	接続リセット/BT-SPP マスター終了 設定された BD アドレスをクリアし、接続をリセットします。	
数値バーコード / 16 進数バーコード		
0	109900	1 109901
2	109902	3 109903
4	109904	5 109905
6	109906	7 109907
8	109908	9 109909
A	109910	B 109911
C	109912	D 109913
E	109914	F 109915
確定 109994		

3.1.8. Bluetooth PIN コードの初期化

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 1 5 5	プリセット PIN コード (0000) を使用	0000
 1 0 0 1 5 4	PIN コードを使用しない。(ランダム PIN コード)	■
 1 0 9 9 7 3	PIN コードをクリア	
 1 0 0 1 5 0	<u>PIN コードを 16 進数(Hex)で設定</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを 16 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 16 進数(Hex)で設定」「3」「1」「3」「2」「3」「3」「3」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 0 1 5 1	<u>PIN コードを 10 進数で設定</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで ASCII コードを 10 進数でスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定できる PIN コードは、最大 16 文字です。例えば、1234 に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コードを 10 進数で設定」「4」「9」「5」「0」「5」「1」「5」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
数値バーコード / 16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

3.2. フリックス/ホストフィックスの初期化

フリックスは読み取ったバーコードの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データです。

フリックス	バーコードデータ	サフィックス
-------	----------	--------

初期状態では、フリックス:無し、サフィックス:CR(Enterキー)です。変更が必要な場合は、下記から希望する専用2Dバーコードを順番に読み取ってください。任意の文字列を設定したい場合は、「フリックス/ホストフィックス」を参照ください。

3.2.1. フリックス:無し/サフィックス:無し

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	フリックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.2. フリックス:無し/サフィックス:CR(Enterキー)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	フリックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:CR(Enterキー)
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.3. プリフィックス:無しサフィックス:エンターキー(テンキー)

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:エンターキー(テンキー)
 1 0 9 9 0 8	8
 1 0 9 9 1 5	F
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.4. プリフィックス:無しサフィックス:TABキー

上から順番に読み取ってください。

 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:TABキー
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 0 9	9
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.5. プリフィックス:無しサフィックス:実行キー(右 CTRL)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:実行キー(右 CTRL)
 109901	1
 109912	C
 109994	確定
 109999	設定終了

3.2.6. プリフィックス:無しサフィックス:実行キー(右 ALT)

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:無し
 109994	確定
 101231	サフィックス:実行キー(右 ALT)
 109901	1
 109913	D
 109994	確定
 109999	設定終了

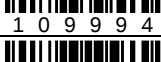
3.2.7. プリフィックス:無し/サフィックス:CR/LF

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス:無し
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 1 2 3 1	サフィックス:CR/LF
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 3	D
 1 0 9 9 0 0	0
 1 0 9 9 1 0	A
 1 0 9 9 9 4	確定
 1 0 9 9 9 9	設定終了

3.2.8. プリフィックス:STX/サフィックス:ETX

上から順番に読み取ってください。

 8647116687323180	設定開始
 101230	プリフィックス:STX
 109900	0
 109902	2
 109994	確定
 101231	サフィックス:ETX
 109900	0
 109903	3
 109994	確定
 109999	設定終了

4. 一般動作に関するパラメータ

4.1. グットリッド LED/ハイブレーション

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101013	グット LED 点灯 無し	
 101014	グット LED 点灯 有り	■
 102241	グットハイブレーション動作 無し	■
 102242	グットハイブレーション動作 有り(ハイブレーション搭載モデルのみ)	

4.2. グットリッド LED/ハイブレーションの長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
LED  101020 ハイブレーション  102253	グットリッド LED/ハイブレーションの長さ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~254で、単位はLEDが10ミリ秒、ハイブレーションが100ミリ秒です。例えば、LEDを2秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「2」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	040(LED) 010(ハイブレーション)
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

4.3. ビーブの音量

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101009	無し	
 101010	小	
 101011	中	
 101012	大	■

4.4. グットリートビーブの音色

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101001	8KHz	
 101002	4KHz	■
 101003	2KHz	
 101004	1KHz	

4.5. グットリードビーフの長さ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 101005	短い	■
 101006	普通	
 101007	長い	
 101008	最長	

4.6. ノーリード (NR)送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

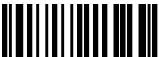
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100266	無し	■
 100267	有り	

4.7. オートパワーオフ

オートパワーオフで設定された時間、アイドル状態が続くと、リーダーは自動的に電源を切ります。但し、リーダーが、下記の何れかの状態にある場合は、機能しません。

- 設定モードで動作している
- ペースタンドにセットされ、プレゼンテーションモードで動作している

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 0 0	<u>オートパワーオフ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「オートパワーオフ」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

4.8. パワーセーブ (無線式のみ)

パワーセーブで設定された時間、アイドル状態が続くと、リーダーは自動的に省電力モードに移行します。但し、リーダーが、下記の何れかの状態にある場合は、機能しません。

- SPP 又は HID 接続で接続中である
- 設定モードで動作している
- コンティニアスモード又はテストモードで動作している
- ベーススタットにセットされ、プレセッションモードで動作している
- パワーセーブの設定値がオートパワーオフの設定値より大きく設定されている

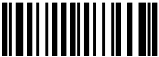
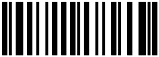
設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 2 1	<u>パワーセーブ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~254です。例えば、15分に設定したい場合は、「設定開始」「イメージタイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

5. 読取動作に関するパラメータ

5.1. トリガモード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 0 6	<u>レーザモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。設定された読取タイムアウトを経過した場合もスキャンを終了します。	■
 1 0 0 2 0 0	<u>オートモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。	
 1 0 0 2 0 2	<u>オートパワーモード</u> トリガボタンを一度押すと、スキャンを試みます。設定された読取タイムアウト内にバーコードの読み取りに成功しなければ、スキャンを終了します。バーコードの読み取りに成功すると、読取タイムアウトはリセットされ、再加算されます。	
 1 0 0 2 0 8	<u>イメージモード</u> トリガボタンを一度押すと、ビームを照射し、イメージモードに移行します。設定されたイメージタイムアウト内に再度トリガボタンを押すと、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、設定された読取タイムアウトを経過するとスキャンを終了します。このモードは、ビームで目的のバーコードを確実に狙った後、スキャンを行いたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 0 9	<u>マルチバーコードモード</u> トリガボタンを押している間、読取タイムアウトに関係無くスキャンを試みます。このモードは、一度に複数のバーコードをスキャンしたい場合に使用します。	
 1 0 0 2 1 0	<u>プレゼンテーションモード</u> コード（紙面）を検知して、自動読み取りを行うモードです。 低照明改善モード 無効(*)  1 0 2 2 4 6 低照明改善モード 有効  1 0 2 2 4 7	
 1 0 0 2 7 1	<u>オートセンスモード</u> オートスタンドと併用して、自動読み取りを行うモードです。オートスタンドから取り外すと、レーザモードで動作します。 オートセンスモード 無効  1 0 0 2 7 0	■
 1 0 0 2 0 7	<u>テストモード</u> テスト用途でのみ使用するモードです。	

低照明改善モード

低照明改善モードは、プレゼンテーションモードを周囲照明が十分でない環境で使用する場合に設定します。このモードを有効にすると、リーダは、薄っすらと照明を点灯させた状態で待機し、コード検知感度を補強します。

5.2. 読取タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

- レーザモード
- オートオフモード
- オートパワーオフモード
- イミグモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100235	<u>読取タイムアウト</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、15秒に設定したい場合は、「設定開始」「読取タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10
数値バーコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.3. イミグ タイムアウト

このパラメータは、次の読取モードで有効です。

➤ イミグ モード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンド バージョ	説明	デフォルト
 100226	イミグ タイムアウト 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の数値 バージョ で 2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了 バージョ をスキャンします。 設定範囲は 0~15 です。例えば、15 秒に設定したい場合は、「設定開始」「イミグ タイムアウト」「1」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1
数値 バージョ		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.4. デコードデレイ

このパラメータは、次の読取モードに有効です。

- コンティニアスモード
- オートパワーオフモード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 2 7	無し	
 1 0 0 2 2 8	0.5 秒	■
 1 0 0 2 2 9	1 秒	
 1 0 0 2 3 0	2 秒	

5.5. 同一コード読取デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 1 6	100 ミリ秒	
 1 0 0 2 1 7	200 ミリ秒	
 1 0 0 2 1 8	400 ミリ秒	■
 1 0 0 2 1 9	800 ミリ秒	
 1 0 0 2 2 0	1 秒	
 1 0 0 2 2 1	2 秒	
 1 0 0 2 2 2	3 秒	
 1 0 0 2 2 3	5 秒	

5.6. 初 (反転)バ -コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 100224	読み取り 無し	■
 100225	読み取り 有り	

5.7. 読取照合回数(一次元バ -コード のみ)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 100262	無し	■
 100263	1 回	
 100264	2 回	

5.8. 一次元バ -コード ファザ -デ コーディング

このオプションを「有り」に設定すると、一次元バ -コード のデ コーディング が最適化されます。二次元コード のデ コーディング に時間がかかるようであれば、このオプションを「無し」に設定してお試しください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 102116	無し	
 102117	有り	■

5.9. プロファイル 読取照合回数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100380	プロフィール 読取照合回数 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は2~30です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「プロフィール 読取照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

5.10. リーダの動作に関する設定

5.10.1. イミングパターン

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 1 3 0	無し	
 1 0 2 1 3 1	有り	■

5.10.2. デコーディング照明

通常、このオプションを「有り」にした方が、より良い品質のイメージキャプチャ及びデコーディングが行えます。デコーディング照明の明るさは、1(暗い)~10(明るい)の範囲で調整が可能です。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 1 2 8	無し	
 1 0 2 1 2 9	有り	■
 1 0 2 2 5 6	<u>デコーディング照明の明るさ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~10です。例えば、最も明るい照明10に設定する場合は、「設定開始」「デコーディング照明の明るさ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
確定  1 0 9 9 9 4	

5.10.3. スマートフォン液晶画面読み取り

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 2 6 7	無し	■
 1 0 2 2 6 8	有り	

6. インターフェイスに関するパラメータ

6.1. ケーブル自動判別によるインターフェイス切替

このオプションを「有り」に設定すると、二次元リーダに接続されたインターフェイスケーブルタイプを自動判別し、自動的に適切なインターフェイスに切替えます。

ケーブルタイプ	デフォルト値
キーボードインターフェイスケーブル	PC-AT 英語キーボード
RS232C インターフェイスケーブル	115.2Kbps/8/N/1
USB インターフェイスケーブル	USB キーボード (HID)/PC-AT 英語キーボード

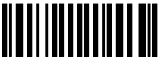
設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 1 8 0	無し	
 1 0 2 1 8 2	有り	■

6.2. キーボードインターフェイス

6.2.1. キーボードタイプ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 0 0	キーボードインターフェイス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて2桁のキーボードタイプ番号をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。キーボードタイプ番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語キーボードに設定する場合は、「設定開始」「キーボードインターフェイス」「1」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

キーボードタイプ番号表					
NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ	NO	キーボードタイプ
1	PC-AT (US)	11	PS55 A01-1	21	PS55 002-81,003-81
2	PC-AT (French)	12	PS55 A01-2(日本語キーボード)	22	PS55 002-2,003-2
3	PC-AT (German)	13	PS55 A01-3	23	PS55 002-82,003-82
4	PC-AT (Italy)	14	PS55 001-1	24	PS55 002-3,003-3
5	PC-AT (Swedish)	15	PS55 001-81	25	PS55 002-8A,003-8A
6	PC-AT (Norwegian)	16	PS55 001-2	26	IBM3477 TYPE 4
7	PC-AT (UK)	17	PS55 001-82	27	PS2-30
8	PC-AT (Belgium)	18	PS55 001-3	28	Memorex Telex122 Key
9	PC-AT (Spanish)	19	PS55 001-8A	29	-
10	PC-AT (Portuguese)	20	PS55 002-1, 003-1	30	PC-AT (Turkish)

6.2.2. CAPS ロック

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 2	CAPS ロックオフ	■
 1 0 0 0 5 3	CAPS ロックオン	
 1 0 0 0 5 4	自動検出*	

※ 自動検出は、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。

6.2.3. アルファベット送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 0	大文字・小文字を考慮	■
 1 0 0 0 5 1	CAPS ロック状態に従う	

6.2.4. 数字送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 4 0	フルキーボード	■
 1 0 0 0 4 1	テンキーボード	

6.2.5. 漢字送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100066	漢字送信あり	■
 100067	漢字送信あり	

※ WINDOWS 搭載 PC が対象となります。

※ 一部の PC、日本語入力システムでは、正しく動作しない場合があります。

6.2.6. ALT シークス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100056	ALT シークスで送信しない	■
 100057	ALT シークスで送信する	

6.2.7. 外付キーボード接続

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100059	無し(ノートパソコンモード)	
 100058	有り	■

6.2.8. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.2.9. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255(設定値表を参照)です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

設定値表			
設定値	デレイタイム	設定値	デレイタイム
0	無し	195~204	200 ミ秒
1~14	10 ミ秒	205~214	210 ミ秒
15~24	20 ミ秒	215~224	220 ミ秒
25~34	30 ミ秒	225~234	230 ミ秒
35~44	40 ミ秒	235~244	240 ミ秒
45~54	50 ミ秒	245~254	250 ミ秒
:	:		

6.3. RS232C インターフェイス

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100001	RS232C インターフェイスを使用する	

6.3.1. ボーレート

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100080	11,5200bps	■
 100081	57,600bps	
 100082	38,400bps	
 100083	19,200bps	
 100084	9,600bps	
 100085	2,400bps	
 100086	1,200bps	
 100087	600bps	

6.3.2. データビット

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100093	8ビット	■
 100092	7ビット	

6.3.3. パリティ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 8 8	無し	■
 1 0 0 0 9 0	偶数	
 1 0 0 0 9 1	奇数	

6.3.4. ストップビット

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 9 8	1ビット	■
 1 0 0 0 9 9	2ビット	

6.3.5. フロー制御

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 9 4	無し フローコントロールを行いません。	■
 1 0 0 0 9 5	RTS/CTS リーダーは電源が投入されると、RTS ラインをアクティブにします。読取データは、CTS ラインがアクティブになると、送信されます。	
 1 0 0 0 9 6	データ/DTR リーダーはデータを読み取ると、RTS ラインをアクティブにし、CTS ラインがアクティブになると、読取データを送信します。	
 1 0 0 0 9 7	データ/DTR(反転) RTS 回路の論理が反転することを除いて、データ/DTRと同じ動作を行います。	

6.3.6. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 100011	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

6.3.7. ファンクション間送信デレイ

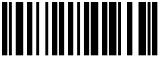
設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

6.3.8. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 3	ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~99(0.1秒単位)です。例えば、1秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 ACK/NAK 動作 リーダは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

6.3.9. ACK/NAK イレビーフ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 4	無し	■
 1 0 0 0 1 5	有り	

6.4. USB キーボード インターフェイス(HID)

6.4.1. キーボード タイプ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンド バージョン	説明	デフォルト
ケーブル式リーダー 1504(A)/1704  1 0 0 0 0 9 3656 ペースタート 経由  1 0 0 0 0 5	<u>USB キーボード インターフェイス(HID)</u> 左のコマンド バージョン をスキャンした後、続けて 2 桁のキーボード タイプ 番号をスキャンし、最後に設定終了 バージョン をスキャンします。キーボード タイプ 番号は下記の表を参照ください。例えば、日本語 USB キーボード に設定する場合は、「設定開始」「キーボード インターフェイス」「7」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	64
数値 バージョン		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

キーボード タイプ 番号表			
NO	キーボード タイプ	NO	キーボード タイプ
64	PC-AT (US)	74	PS55 A01-2 (日本語キーボード)
65	PC-AT (French)	75	-
66	PC-AT (German)	76	PC-AT(Turkish)
67	PC-AT (Italy)		
68	PC-AT (Swedish)		
69	PC-AT (Norwegian)		
70	PC-AT (UK)		
71	PC-AT (Belgium)		
72	PC-AT (Spanish)		
73	PC-AT (Portuguese)		

6.4.2. CAPS 切替

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 2	CAPS 切替オン	■
 1 0 0 0 5 3	CAPS 切替オフ	
 1 0 0 0 5 4	自動検出	

※ 自動検出は、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。

6.4.3. アルファベット送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 5 0	大文字・小文字を考慮	■
 1 0 0 0 5 1	CAPS 切替状態に従う	

6.4.4. 数字送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 4 0	フルキーボード	■
 1 0 0 0 4 1	テンキーボード	

6.4.5. 漢字送信

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 6 6	漢字送信オン	■
 1 0 0 0 6 7	漢字送信オフ	

6.4.6. HID 送信モード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 6 4	バッチ送信	■
 1 0 0 0 6 5	キャラクタ送信	

※ PC 側でデータの桁落ちなどが発生する場合は、「キャラクタ送信」をお試しください。

6.4.7. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 1	キャラクタ間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

6.4.8. ファンクション間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファンクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255(設定値表を参照)です。例えば、10ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファンクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファンクション間送信デレイは、ファンクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

設定値表			
設定値	デレイタイム	設定値	デレイタイム
0	無し	195~204	200 ミ秒
1~14	10 ミ秒	205~214	210 ミ秒
15~24	20 ミ秒	215~224	220 ミ秒
25~34	30 ミ秒	225~234	230 ミ秒
35~44	40 ミ秒	235~244	240 ミ秒
45~54	50 ミ秒	245~254	250 ミ秒
:	:		

6.5. USB バーチャル COM インターフェイス(VCP)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 0 8	USB バーチャル COM インターフェイスを使用する	

6.5.1. ファクション間送信デレイ

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

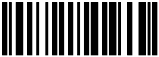
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 2	ファクション間送信デレイ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255(設定値表を参照)です。例えば、10 ミ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ファクション間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

※ ファクション間送信デレイは、ファクションコード (01hex~1Fhex) が送信された後に挿入されます。

設定値表			
設定値	デレイタイム	設定値	デレイタイム
0	無し	195~204	200 ミ秒
1~14	10 ミ秒	205~214	210 ミ秒
15~24	20 ミ秒	215~224	220 ミ秒
25~34	30 ミ秒	225~234	230 ミ秒
35~44	40 ミ秒	235~244	240 ミ秒
45~54	50 ミ秒	245~254	250 ミ秒
:	:		

6.5.2. ACK/NAK タイムアウト

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 3	ACK/NAK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は0~99(0.1秒単位)です。例えば、1秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK/NAK タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 ACK/NAK 動作 リーダは、読取データ送信後、ここで設定された時間 ACK/NAK 応答を待ちます。何の応答も得られない場合、3回迄読取データを再送し、全て失敗した場合は、その読取データを破棄します。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

6.5.3. ACK/NAK レービelf

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 0 1 4	無し	■
 1 0 0 0 1 5	有り	

7. 読取コードに関するパラメータ

7.1. コーダバー(NW7)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

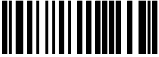
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 3	読み取り有り	■
 1 0 0 4 4 0	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 1 0 0 4 4 1	スタート/ストップキャラクタ送信有り	
 1 0 0 4 4 2	CLSI 変換無し	■
 1 0 0 4 4 3	CLSI 変換有り	
 1 0 2 2 2 2	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 2 2 2 1	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバースコード	説明	デフォルト
 1 0 2 2 2 3	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 1 0 2 2 2 4	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バースコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.2. イタ ストリアル 2/5

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンド バ -コード	説明	デフォルト
 100306	読み取り無し	
 100307	読み取り有り	■
 100601	最大/最小読取桁数検査	■
 100600	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	
 100602	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ -コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100603	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バ -コード をスキャンします。設定範囲は 1~127 です。例えば、10 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バ -コード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.3. インターリーブド 2/5

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 0 8	読み取り無し	
 1 0 0 3 0 9	読み取り有り	■
 1 0 2 1 2 2	チェックサム検査無し	■
 1 0 2 1 2 3	チェックサム検査有り (USS)	
 1 0 2 1 2 4	チェックサム検査有り (QPCC)	
 1 0 0 4 3 0	チェックサム送信無し	
 1 0 0 4 3 1	チェックサム送信有り	■
 1 0 2 1 0 0	ITF14→EAN-13 変換無し	■
 1 0 2 1 0 1	ITF14→EAN-13 変換有り	
 1 0 0 6 0 5	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 4	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

マストバースコード	説明	デフォルト
 100606	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 100607	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
確定  109994		

7.4. マトリクス 2/5

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 1	読み取り有り	
 1 0 0 4 3 2	チェックサム検査無し	■
 1 0 0 4 3 3	チェックサム検査有り	
 1 0 0 4 3 4	チェックサム送信無し	
 1 0 0 4 3 5	チェックサム送信有り	■
 1 0 0 6 0 9	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 0 6 0 8	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバースコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 0	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 1 0 0 6 1 1	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バースコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.5. コード 39

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

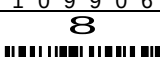
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100300	読み取り無し	
 100301	読み取り有り	■
 100404	チェックサム検査無し	
 100405	チェックサム検査有り	
 100406	チェックサム送信無し	
 100407	チェックサム送信有り	■
 100400	FLASK-読み取り無し	■
 100401	FLASK-読み取り有り	
 102218	最大/最小読取桁数検査	■
 102217	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバースコード	説明	デフォルト
 1 0 2 2 1 9	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 1 0 2 2 2 0	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バースコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バースコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.6. コード 93

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 4	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 5	読み取り有り	■
 1 0 2 2 2 6	最大/最小読取桁数検査	■
 1 0 2 2 2 5	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	
 1 0 2 2 2 7	<u>最大読取桁数/固定読取桁数 1</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 1 0 2 2 2 8	<u>最小読取桁数/固定読取桁数 2</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
 1 0 9 9 0 0	 1 0 9 9 0 1	
 1 0 9 9 0 2	 1 0 9 9 0 3	
 1 0 9 9 0 4	 1 0 9 9 0 5	
 1 0 9 9 0 6	 1 0 9 9 0 7	
 1 0 9 9 0 8	 1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.7. コード 128

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 1 7	読み取り有り	■

7.8. ISBT-128

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 5 4	読み取り無し	
 1 0 0 3 5 5	読み取り有り	■
 1 0 2 2 3 7	連結無し	
 1 0 2 2 3 8	連結有り	
 1 0 2 2 3 9	連結自動識別	■

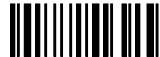
7.9. GS1-128(EAN-128)

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 1 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 1 9	読み取り有り	
 1 0 0 5 1 8	コード ID “]C1” 送信無し	■
 1 0 0 5 1 9	コード ID “]C1” 送信有り	
 1 0 0 6 1 6	GS(FNC1)置換キャラクタ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コード をスキャンし、最後に設定終了バーコード をスキャンします。例えば、@(40hex)に設定したい場合は、「設定開始」「GS(FNC1)置換キャラクタ」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00
16 進数バーコード		
 1 0 9 9 0 0	 1 0 9 9 0 1	
 1 0 9 9 0 2	 1 0 9 9 0 3	
 1 0 9 9 0 4	 1 0 9 9 0 5	
 1 0 9 9 0 6	 1 0 9 9 0 7	
 1 0 9 9 0 8	 1 0 9 9 0 9	
 1 0 9 9 1 0	 1 0 9 9 1 1	
 1 0 9 9 1 2	 1 0 9 9 1 3	
 1 0 9 9 1 4	 1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.10. GS1 Databar(RSS)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 5 1 7	GS1 Databar コード ID “C1” を使用	
 1 0 0 5 1 6	GS1-128 コード ID “e0” を使用	■
 1 0 2 1 0 2	UPC/EAN 変換無し	■
 1 0 2 1 0 3	UPC/EAN 変換有り	

7.10.1. GS1 Databar Omnidirectional(RSS-14)

下記の GS1 Databar が、このグループに含まれます。

- GS1 Databar Omnidirectional
- GS1 Databar Truncated
- GS1 Databar Stacked

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り (GS1 Databar Expanded 含む)	
 1 0 0 5 2 2	コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 3	コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 2 8	アプリケーション ID “01” 送信無し	
 1 0 0 5 2 9	アプリケーション ID “01” 送信有り	■

7.10.2. GS1 Databar Expanded(RSS Expanded)

下記の GS1 Databar が、このグループに含まれます。

- GS1 Databar Expanded
- GS1 Databar Expanded Stacked

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 4 8	読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 9	読み取り有り (GS1 Databar Omnidirectional 含む)	
 1 0 0 5 2 6	RSS-Expanded コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 7	RSS-Expanded コード ID 送信有り	■

7.10.3. GS1 Databar Limited(RSS Limited)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 5 0	読み取り無し	■
 1 0 0 3 5 1	読み取り有り	
 1 0 0 5 2 4	コード ID 送信無し	
 1 0 0 5 2 5	コード ID 送信有り	■
 1 0 0 5 3 0	アプリケーション ID "01" 送信無し	
 1 0 0 5 3 1	アプリケーション ID "01" 送信有り	■
 1 0 0 4 8 2	チェックディジット送信無し	
 1 0 0 4 8 3	チェックディジット送信有り	■

7.11. MSI

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100344	読み取り無し	■
 100345	読み取り有り	
 100448	チェックシートタイプ シングル-枚 10	■
 100449	チェックシートタイプ ダブル-枚 10	
 100450	チェックシートタイプ 枚 10 & 11	
 100452	チェックシート送信(最後1桁)無し	■
 100453	チェックシート送信(2桁両方)有り	
 100454	チェックシート送信(2桁両方)無し	
 100613	最大/最小読取桁数検査	■
 100612	固定読取桁数 1/固定読取桁数 2 検査	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

マストバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 1 4	最大読取桁数/固定読取桁数 1 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数/固定読取桁数 1」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	55
 1 0 0 6 1 5	最小読取桁数/固定読取桁数 2 左のマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで3桁迄の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は1~127です。例えば、10桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数/固定読取桁数 2」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	4
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

7.12. EAN-8(JAN-8)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 2 6	読み取り無し	
 1 0 0 3 2 7	読み取り有り	■
 1 0 0 3 2 8	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 9	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 3 0	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 1	アドオン5 読み取り有り	

7.13. EAN-13(JAN-13)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 3 2	読み取り無し	
 1 0 0 3 3 3	読み取り有り	■
 1 0 0 3 3 4	アドバンス 2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 5	アドバンス 2 読み取り有り	
 1 0 0 3 3 6	アドバンス 5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 3 7	アドバンス 5 読み取り有り	
 1 0 0 4 6 2	ISBN 変換無し	■
 1 0 0 4 6 3	ISBN 変換有り	
 1 0 0 4 6 4	ISSN 変換無し	■
 1 0 0 4 6 5	ISSN 変換有り	

7.14. UCC ケーパースト

下記のバーコードを UCC ケーパースト とみなします。

- 5 で始まる UPC-A
- 99 で始まる EAN-13
- UPC-A/EAN-128 ケーパースト

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 0 2	読み取り無し	■
 1 0 2 0 0 3	読み取り有り	

7.15. UPC-A

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 3 8	読み取り無し	
 1 0 0 3 3 9	読み取り有り	■
 1 0 0 3 4 0	アドオン2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 1	アドオン2 読み取り有り	
 1 0 0 3 4 2	アドオン5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 4 3	アドオン5 読み取り有り	
 1 0 0 4 7 6	システムバー送信無し	
 1 0 0 4 7 7	システムバー送信有り	■
 1 0 0 4 6 8	チェックゾット送信無し	
 1 0 0 4 6 9	チェックゾット送信有り	■

7.16. UPC-E

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 3 2 0	読み取り無し	
 1 0 0 3 2 1	読み取り有り	■
 1 0 0 3 2 2	アドバンス2 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 3	アドバンス2 読み取り有り	
 1 0 0 3 2 4	アドバンス5 読み取り無し	■
 1 0 0 3 2 5	アドバンス5 読み取り有り	
 1 0 0 4 7 9	UPC-E0(システムバーコード0)&E1(システムバーコード1)両方を読み取り	
 1 0 0 4 7 8	UPC-E0(システムバーコード0)のみ読み取り有り	■
 1 0 0 4 5 6	UPC-A 変換無し	■
 1 0 0 4 5 7	UPC-A 変換有り	
 1 0 0 4 7 4	システムバーコード送信無し	■
 1 0 0 4 7 5	システムバーコード送信有り	
 1 0 0 4 6 6	チェックディジット送信無し	
 1 0 0 4 6 7	チェックディジット送信有り	■

7.17. コンポジットコード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 0 8	CC-A/B 読み取り無し	■
 1 0 2 0 0 9	CC-A/B 読み取り有り	
 1 0 2 0 1 0	CC-C 読み取り無し	■
 1 0 2 0 1 1	CC-C 読み取り有り	
 1 0 2 0 1 2	TLC-39 読み取り無し	■
 1 0 2 0 1 3	TLC-39 読み取り有り	
 1 0 2 1 1 2	UPC コンポジット UPC リンク無し	
 1 0 2 1 1 3	UPC コンポジット UPC リンク有り	■
 1 0 2 1 1 4	UPC コンポジット UPC リンク自動識別	
 1 0 2 1 0 4	UCC/EAN コンポジット GS-128 イミュレーション無し	■
 1 0 2 1 0 5	UCC/EAN コンポジット GS-128 イミュレーション有り	

7.18. 郵便コード

7.18.1. US 郵便コード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 1 6	US Postnet 読み取り無し	
 1 0 2 0 1 7	US Postnet 読み取り有り	■
 1 0 2 0 1 8	US Planet 読み取り無し	
 1 0 2 0 1 9	US Planet 読み取り有り	
 1 0 2 1 1 0	チェックビット送信無し	
 1 0 2 1 1 1	チェックビット送信有り	■

7.18.2. UK 郵便コード

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 2 0	読み取り無し	
 1 0 2 0 2 1	読み取り有り	■
 1 0 2 1 0 8	チェックビット送信無し	
 1 0 2 1 0 9	チェックビット送信有り	■

7.18.3. 日本郵便コード (カスタムコード)

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 2 2	読み取り無し	
 1 0 2 0 2 3	読み取り有り	■

7.19. 二次元コード

7.19.1. PDF417

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 3 2	読み取り無し	
 1 0 2 0 3 3	読み取り有り	■

7.19.2. MicroPDF417

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 3 4	読み取り無し	■
 1 0 2 0 3 5	読み取り有り	

7.19.3. DATA MATRIX

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 2 0 3 6	読み取り無し	
 1 0 2 0 3 7	読み取り有り	■
 1 0 2 1 1 8	ミラーイメージ 読み取り無し	■
 1 0 2 1 1 9	ミラーイメージ のみ読み取り有り	
 1 0 2 1 2 0	ミラーイメージ 読み取り有り	

7.19.4. MAXICODE

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102038	読み取り無し	
 102039	読み取り有り	■

7.19.5. QR コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102040	読み取り無し	
 102041	読み取り有り	■

7.19.6. MicroQR コード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102042	読み取り無し	
 102043	読み取り有り	■

7.19.7. AZTEC

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102045	読み取り無し	
 102044	読み取り有り	■

7.20. Macro PDF

7.20.1. 送信・デコードモード

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102186	全シンボルをバッファ後、一括送信	
 102187	デコード後、各データを都度送信(順序関係無し)	
 102190	パススルー(処理無し、ホスト側にて解析・処理)	■

7.20.2. ISK-プロトコル

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102196	GLIプロトコル無し	■
 102198	GLIプロトコル有り	

7.20.3. コントロールハット送信

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 102194	コントロールハット送信無し	■
 102195	コントロールハット送信有り	

8. データフォーマットに関する設定

読取データは、下記の基本データフォーマットに従って、送信されます。

基本データフォーマット				
プレフィックス	コード ID	読取データ桁数	読取データ	サフィックス

プレフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

コード ID

無し、任意のキャラクタ又はコード ID セット 1~5 の何れかを送信することができます。

読取データ桁数

読取データ桁数送信を有りに設定した場合、常に 2 バイト長でバーコード桁数が送信されます。

Ex.1) バーコード が 8 桁の場合 08

Ex.2) バーコード が 40 桁の場合 40

読取データ

読取データが送信されます。また、データ編集機能を使うことで、読取データを任意に編集することも可能です。

サフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

8.1. 大文字・小文字変換送信

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	 1 0 9 9 9 8	 1 0 9 9 9 9

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 0 2	そのまま送信(変換無し)	■
 1 0 1 2 0 3	全て大文字送信(大文字変換)	
 1 0 1 2 0 4	全て小文字送信(小文字変換)	■

8.2. キャラクタ置換

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 3 2	キャラクタ置換セット1 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、@(40hex)をA(40hex)に置換したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。 また、指定キャラクタを除去することも可能で、例えば、@(40hex)を除去したい場合は、「設定開始」「キャラクタ置換セット1」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 1 2 3 3	キャラクタ置換セット2 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
 1 0 1 2 3 4	キャラクタ置換セット3 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1~2キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定例は、キャラクタ置換セット1を参照ください。	
16進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

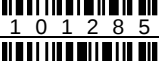
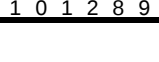
- ※ キャラクタ置換は、データデット前の読取データに対してのみ適用されます。
- ※ キャラクタ置換は、3組まで定義でき、この機能を使用して、指定キャラクタを除去することも可能です。

8.2.1. キャラクタ置換適用バーコードシンボル

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

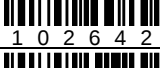
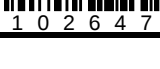
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 5 2	コードバー-(NW7)に適用しない	
 1 0 1 2 5 3	コードバー-(NW7)に適用する	■
 1 0 1 2 4 0	コード 39 に適用しない	
 1 0 1 2 4 1	コード 39 に適用する	■
 1 0 1 2 5 4	コード 93 に適用しない	
 1 0 1 2 5 5	コード 93 に適用する	■
 1 0 1 2 5 6	コード 128 に適用しない	
 1 0 1 2 5 7	コード 128 に適用する	■
 1 0 1 2 5 8	EAN-128(GS1-128)に適用しない	
 1 0 1 2 5 9	EAN-128(GS1-128)に適用する	■
 1 0 1 2 6 6	EAN-8(JAN-8)に適用しない	
 1 0 1 2 6 7	EAN-8(JAN-8)に適用する	■
 1 0 1 2 6 8	EAN-8(JAN-8)アドバンス2に適用しない	
 1 0 1 2 6 9	EAN-8(JAN-8)アドバンス2に適用する	■
 1 0 1 2 7 0	EAN-8(JAN-8)アドバンス5に適用しない	
 1 0 1 2 7 1	EAN-8(JAN-8)アドバンス5に適用する	■
 1 0 1 2 7 2	EAN-13(JAN-13)に適用しない	
 1 0 1 2 7 3	EAN-13(JAN-13)に適用する	■
 1 0 1 2 7 4	EAN-13(JAN-13)アドバンス2に適用しない	
 1 0 1 2 7 5	EAN-13(JAN-13)アドバンス2に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

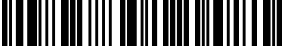
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 6	EAN-13(JAN-13)アドバンスに適用しない	
 1 0 1 2 7 7	EAN-13(JAN-13)アドバンスに適用する	■
 1 0 1 2 4 4	フレチファーマコードに適用しない	
 1 0 1 2 4 5	フレチファーマコードに適用する	■
 1 0 1 2 4 2	イタリアファーマコードに適用しない	
 1 0 1 2 4 3	イタリアファーマコードに適用する	■
 1 0 1 2 4 6	インダストリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 7	インダストリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 4 8	インターリーブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 4 9	インターリーブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 5 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 2 5 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 2 8 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 2 8 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 2 8 6	PLESSEY に適用しない	
 1 0 1 2 8 7	PLESSEY に適用する	■
 1 0 1 2 9 0	RSS(GS1 Databar)に適用しない	
 1 0 1 2 9 1	RSS(GS1 Databar)に適用する	■
 1 0 1 2 8 8	Telepen に適用しない	
 1 0 1 2 8 9	Telepen に適用する	■

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 7 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 2 7 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 2 8 0	UPC-A アドカ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 8 1	UPC-A アドカ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 8 2	UPC-A アドカ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 8 3	UPC-A アドカ 5 に適用する	■
 1 0 1 2 6 0	UPC-E に適用しない	
 1 0 1 2 6 1	UPC-E に適用する	■
 1 0 1 2 6 2	UPC-E アドカ 2 に適用しない	
 1 0 1 2 6 3	UPC-E アドカ 2 に適用する	■
 1 0 1 2 6 4	UPC-E アドカ 5 に適用しない	
 1 0 1 2 6 5	UPC-E アドカ 5 に適用する	■
 1 0 2 6 1 2	コボジット CC-C に適用しない	
 1 0 2 6 1 3	コボジット CC-C に適用する	■
 1 0 2 6 1 4	コボジット TLC-39 に適用しない	
 1 0 2 6 1 5	コボジット TLC-39 に適用する	■
 1 0 2 6 1 8	US Postnet に適用しない	
 1 0 2 6 1 9	US Postnet に適用する	■
 1 0 2 6 2 0	US Planet に適用しない	
 1 0 2 6 2 1	US Planet に適用する	■
 1 0 2 6 2 2	UK Postal に適用しない	
 1 0 2 6 2 3	UK Postal に適用する	■

 1 0 2 6 2 4	日本郵便コード (カヌマコード) に適用しない	
 1 0 2 6 2 5	日本郵便コード (カヌマコード) に適用する	■
 1 0 2 6 3 4	PDF417 に適用しない	
 1 0 2 6 3 5	PDF417 に適用する	■
 1 0 2 6 3 6	MicroPDF417 に適用しない	
 1 0 2 6 3 7	MicroPDF417 に適用する	■
 1 0 2 6 3 8	Data Matrix に適用しない	
 1 0 2 6 3 9	Data Matrix に適用する	■
 1 0 2 6 4 0	Maxicode に適用しない	
 1 0 2 6 4 1	Maxicode に適用する	■
 1 0 2 6 4 2	QR コード に適用しない	
 1 0 2 6 4 3	QR コード に適用する	■
 1 0 2 6 4 4	MicroQR に適用しない	
 1 0 2 6 4 5	MicroQR に適用する	■
 1 0 2 6 4 6	Aztec に適用しない	
 1 0 2 6 4 7	Aztec に適用する	■

8.3. プリフィックス/サフィックス

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 2 3 0	プリフィックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12(31hex, 32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「プリフィックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「プリフィックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 1 0 1 2 3 1	サフィックス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを最大8キャラクタ分スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12(31hex, 32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「サフィックス」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーションキー (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1キャラクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大4スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.4. コード ID

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 9 9 6 1	コード ID セット 1 を使用	
 1 0 9 9 6 2	コード ID セット 2 を使用	
 1 0 9 9 6 3	コード ID セット 3 を使用	
 1 0 9 9 6 4	コード ID セット 4 を使用	
 1 0 9 9 6 5	コード ID セット 5 を使用	

バーコードシンボル	コード ID セット 1	コード ID セット 2	コード ID セット 3	コード ID セット 4	コード ID セット 5
コード 39	A	C	Y	M	A
イタリアンファーマコード	A	C	Y	M	A
フィンランドファーマコード	A	C	Y	M	A
インダストリアル 2/5	C	H	H	H	S
インターリーブド 2/5	D	I	Z	I	S
マトリクス 2/5	E	G	G	G	S
コードバー (NW7)	F	N	X	N	F
コード 93	I	L	L	L	G
コード 128	H	K	K	K	C
UPC-E	S	E	C	E	E
EAN-8 (JAN-8)	P	B	B	FF	E
EAN-13 (JAN-13)	M	A	A	F	E
UCP-A	J	A	A	A	E
MSI	V	V	D	P	M
UCC クーポンコード	G	F	I	C	C
コード 11	K	J	J	D	H
シンボット CC-A/B	L	X	M	J	La
シンボット CC-C	N	Y	N	O	Lc
シンボット TLC-39	O	Z	O	R	L2
US Postnet	h	a	s	i	X
US Planet	i	b	t	j	X
UK Postal	j	c	u	k	X
日本郵便コード	k	d	v	l	X
PDF417	a	O	w	T	L
MicroPDF417	b	P	V	U	L
Data Matrix	c	Q	U	V	d
Maxicode	d	R	T	w	U
QRコード	e	S	S	X	Q
MicroQR	f	T	R	Y	Q
Aztec	g	U	Q	Z	z
IATA	z	Z	r	h	S
Macro PDF417	p	i	a	q	L
Macro MicroPDF417	q	j	b	r	L

8.4.1. ユーザーコード ID

ユーザーコード ID を定義したいバーコードシンボルタイプをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードを最大 2 文字ずつスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、12(31hex, 32hex)と設定したい場合は、「設定開始」「定義したいバーコードシンボルタイプ」「3」「0」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0		設定キャンセル  1 0 9 9 9 8		設定終了  1 0 9 9 9 9	
バーコードシンボルタイプ					
コードバー(NW7)  1 0 1 4 5 6			コード 39  1 0 1 4 5 0		
コード 93  1 0 1 4 5 7			コード 128  1 0 1 4 5 8		
EAN-8(JAN-8)  1 0 1 4 6 0			EAN-13(JAN-13)  1 0 1 4 6 1		
16進数バーコード					
0  1 0 9 9 0 0			1  1 0 9 9 0 1		
2  1 0 9 9 0 2			3  1 0 9 9 0 3		
4  1 0 9 9 0 4			5  1 0 9 9 0 5		
6  1 0 9 9 0 6			7  1 0 9 9 0 7		
8  1 0 9 9 0 8			9  1 0 9 9 0 9		
A  1 0 9 9 1 0			B  1 0 9 9 1 1		
C  1 0 9 9 1 2			D  1 0 9 9 1 3		
E  1 0 9 9 1 4			F  1 0 9 9 1 5		
確定  1 0 9 9 9 4					

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 文字として、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

バーコード シンボル タイプ	
フロンツァーモード  1 0 1 4 5 2	イタリアンモード  1 0 1 4 5 1
インダストリアル 2/5  1 0 1 4 5 3	インターリーブド 2/5  1 0 1 4 5 4
マトリクス 2/5  1 0 1 4 5 5	MSI  1 0 1 4 6 3
UPC-A  1 0 1 4 6 2	UPC-E  1 0 1 4 5 9
16 進数バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5
確定  1 0 9 9 9 4	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

16 進数バーコード	
コード 11  1 0 2 5 6 7	UCC クーポンコード  1 0 2 5 6 5
コホジット CC-A/B  1 0 2 5 6 8	コホジット CC-C  1 0 2 5 6 9
コホジット TLC-39  1 0 2 5 7 0	US Postnet  1 0 2 5 7 2
US Planet  1 0 2 5 7 3	UK Postal  1 0 2 5 7 4
16 進数バーコード	
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5
確定  1 0 9 9 9 4	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キヤクタとして、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊バーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16 進数バーコード	
日本郵便コード (加付バーコード)  102575	PDF417  102580
MicroPDF417  102581	Data Matrix  102582
Maxicode  102583	QRコード  102584
MicroPDF417  102585	Aztec  102586
16 進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キャラクとして、加付されます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

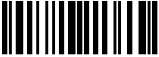
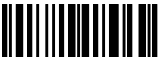
設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

16 進数バーコード	
IATA  102587	Macro PDF417  102588
Macro MicroPDF417  102589	全コード ID 設定クリア  109960
16 進数バーコード	
0  109900	1  109901
2  109902	3  109903
4  109904	5  109905
6  109906	7  109907
8  109908	9  109909
A  109910	B  109911
C  109912	D  109913
E  109914	F  109915
確定  109994	

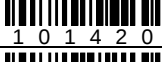
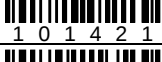
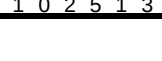
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーション (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 キャラクとして、加算されます。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

8.5. 読取データ桁数

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 4 1 2	コードバー (NW7) に適用しない	■
 1 0 1 4 1 3	コードバー (NW7) に適用する	
 1 0 1 4 0 0	コード 39 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 1	コード 39 に適用する	
 1 0 1 4 1 4	コード 93 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 5	コード 93 に適用する	
 1 0 1 4 1 6	コード 128 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 7	コード 128 に適用する	
 1 0 1 4 1 8	GS1-128 & GS1 Databar に適用しない	■
 1 0 1 4 1 9	GS1-128 & GS1 Databar に適用する	
 1 0 1 4 2 2	EAN-8 (JAN-8) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 3	EAN-8 (JAN-8) に適用する	
 1 0 1 4 2 4	EAN-13 (JAN-13) に適用しない	■
 1 0 1 4 2 5	EAN-13 (JAN-13) に適用する	
 1 0 1 4 0 4	フリチファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 5	フリチファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 2	イタリアンファーマコード に適用しない	■
 1 0 1 4 0 3	イタリアンファーマコード に適用する	
 1 0 1 4 0 6	インダストリアル 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 7	インダストリアル 2/5 に適用する	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

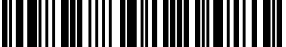
 1 0 1 4 0 8	インタープリント 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 0 9	インタープリント 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	■
 1 0 1 4 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	
 1 0 1 4 2 8	MSI に適用しない	■
 1 0 1 4 2 9	MSI に適用する	
 1 0 1 4 3 2	Telepen に適用しない	■
 1 0 1 4 3 3	Telepen に適用する	
 1 0 1 4 2 6	UPC-A に適用しない	■
 1 0 1 4 2 7	UPC-A に適用する	
 1 0 1 4 2 0	UPC-E に適用しない	■
 1 0 1 4 2 1	UPC-E に適用する	
 1 0 2 5 0 2	UCC クーポンコード に適用しない	■
 1 0 2 5 0 3	UCC クーポンコード に適用する	
 1 0 2 5 0 6	コード 11 に適用しない	■
 1 0 2 5 0 7	コード 11 に適用する	
 1 0 2 5 0 8	コンポジット CC-A/B に適用しない	■
 1 0 2 5 0 9	コンポジット CC-A/B に適用する	
 1 0 2 5 1 0	コンポジット CC-C に適用しない	■
 1 0 2 5 1 1	コンポジット CC-C に適用する	
 1 0 2 5 1 2	コンポジット TLC-39 に適用しない	
 1 0 2 5 1 3	コンポジット TLC-39 に適用する	

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 2 5 1 6	US Postnet に適用しない	■
 1 0 2 5 1 7	US Postnet に適用する	
 1 0 2 5 1 8	US Planet に適用しない	■
 1 0 2 5 1 9	US Planet に適用する	
 1 0 2 5 2 0	UK Postal に適用しない	■
 1 0 2 5 2 1	UK Postal に適用する	
 1 0 2 5 2 2	日本郵便コード (カヌパ -コード) に適用しない	■
 1 0 2 5 2 3	日本郵便コード (カヌパ -コード) に適用する	
 1 0 2 5 3 2	PDF417 に適用しない	■
 1 0 2 5 3 3	PDF417 に適用する	
 1 0 2 5 3 4	MicroPDF417 に適用しない	■
 1 0 2 5 3 5	MicroPDF417 に適用する	
 1 0 2 5 3 6	Data Matrix に適用しない	■
 1 0 2 5 3 7	Data Matrix に適用する	
 1 0 2 5 3 8	Maxicode に適用しない	■
 1 0 2 5 3 9	Maxicode に適用する	
 1 0 2 5 4 0	QR コード に適用しない	■
 1 0 2 5 4 1	QR コード に適用する	
 1 0 2 5 4 2	MicroQR に適用しない	■
 1 0 2 5 4 3	MicroQR に適用する	
 1 0 2 5 4 4	Aztec に適用しない	■
 1 0 2 5 4 5	Aztec に適用する	

8.6. マルチバ-コード データ

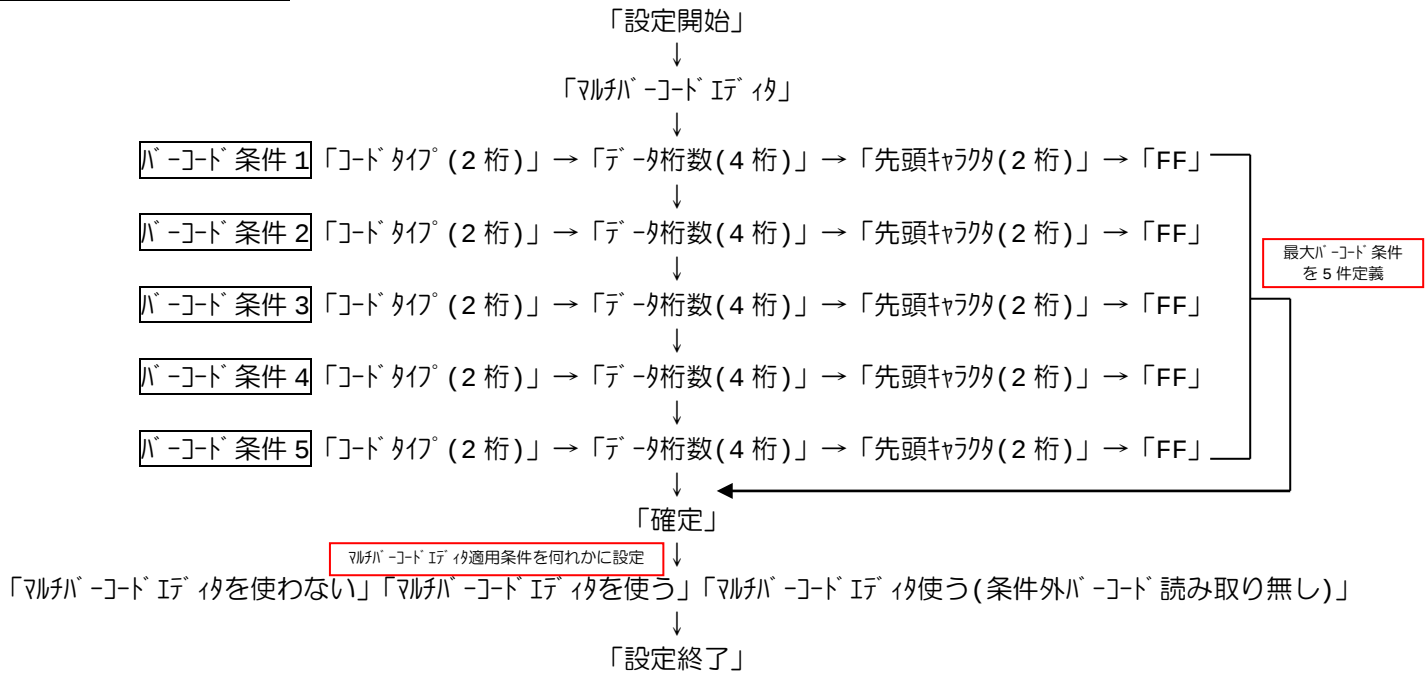
マルチバ-コード データアプリケーションを使うと、条件に合った最大 5 つまでのバ-コード シンボルをスキャンし、それらを定義された順番通りに連結して、1 つの読取データとして、送信することができます。但し、全データの桁数が 2,042 バイトを超えることはできません。2,042 バイトを超えた場合、マルチバ-コード データアプリケーションは、機能しません。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンド バ-コード	説明	デフォルト
 1 0 0 6 5 0	マルチバ-コード データ 次頁のマルチバ-コード データ設定用-を参照ください。	
マルチバ-コード データ適用条件		
マルチバ-コード データを使わない  1 0 0 6 1 7	マルチバ-コード データを使う  1 0 0 6 1 8	マルチバ-コード データ使う (条件外バ-コード 読み取り無し)  1 0 0 6 1 9
16 進数バ-コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

- ※ マルチバ-コード データアプリケーションは、マルチバ-コード モード (読取モード) には対応しません。
- ※ マルチバ-コード データアプリケーションを有効にすると、強制的にレザ- モード (読取モード) が適用されます。

マルチバースコードデフォルト設定フロー



「コードタイプ (2桁)」

下記のコードタイプ表で目的のバースコードシボルに対応する16進数値を調べ、16進数バースコードで入力します。

「データ桁数 (4桁)」

対象とするデータ桁数を0000~0128の範囲で入力します。0000は全てのデータ桁数が対象となります。

「先頭キャラクタ (2桁)」

対象とする先頭キャラクタのASCIIコード2桁を16進数バースコードで入力します。00は全ての先頭キャラクタが対象となります。

「FF」

各バースコード条件の設定区切りを意味するFFを入力します。

コードタイプ表			
コードタイプ	バースコードシボル	コードタイプ	バースコードシボル
41(A)	コード 39		
42(B)	イタリアンマコード		
43(C)	N/A		
44(D)	インターストリアル 2/5	64(d)	TLC-39
45(E)	インターリーブド 2/5	65(e)	Triopticコード 39
46(F)	マトリクス 2/5		
47(G)	コダバース(NW7)	67(g)	コード 11
48(K)	コード 93		
49(I)	コード 128		
4A(J)	UPC-E0/UPC-E1	6A(j)	コンボジット CC-C
4B(K)	UPC-E 7桁 2	6B(k)	PDF417
4C(L)	UPC-E 7桁 5	6C(l)	MicroPDF417
4D(M)	EAN-8(JAN-8)	6D(m)	Data Matrix
4E(N)	EAN-8 7桁 2	6E(n)	Maxicode
4F(O)	EAN-8 7桁 5	6F(o)	QRコード
50(P)	EAN-13(JAN-13)	70(p)	US Postnet
51(Q)	EAN-13 7桁 2	71(q)	US Planet
52(R)	EAN-13 7桁 5	72(r)	UK Postal
53(S)	MSI	73(s)	日本郵便コード
54(T)	N/A	74(t)	オーストラリア郵便コード
55(U)	GS1-128	75(u)	オランダ郵便コード
56(V)	UPC-A	76(v)	コンボジット CC-A/B
57(W)	UPC-A 7桁 2	77(w)	Macro PDF417
58(X)	UPC-A 7桁 5	78(x)	Macro MicroPDF417
		79(y)	チャイナスト 2/5
5A(Z)	N/A	7A(z)	Aztec
5B()	GS1 Databar	7B()	MicroQR
		7C()	USPS 4CB/One Code
		7D()	UPU FICS Postal
		7E()	UCCターボコード

8.6. 指定キャラクタ削除

指定されたキャラクタを読取データから削除します。検索は読取データの最初から行われ、指定キャラクタが見つかったら、別のキャラクタに当たるまで、指定キャラクタを削除します。例えば、指定キャラクタを 0(30hex)に設定した場合、削除後は下記のような結果になります。

読取データ	削除後のデータ
123000123	123123
045600123	456000123
ABCD00EFG0HIJ	ABCDEFG0HIJ

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 8647116687323180	 109998	 109999

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 100650	指定キャラクタ削除 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードを1文字分(2桁)スキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。例えば、1(31hex)と設定したい場合は、「設定開始」「指定キャラクタ削除」「3」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。何も設定したくない場合は、「設定開始」「指定キャラクタ削除」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
16進数バーコード		
 109900	 109901	
 109902	 109903	
 109904	 109905	
 109906	 109907	
 109908	 109909	
 109910	 109911	
 109912	 109913	
 109914	 109915	
確定  109994		

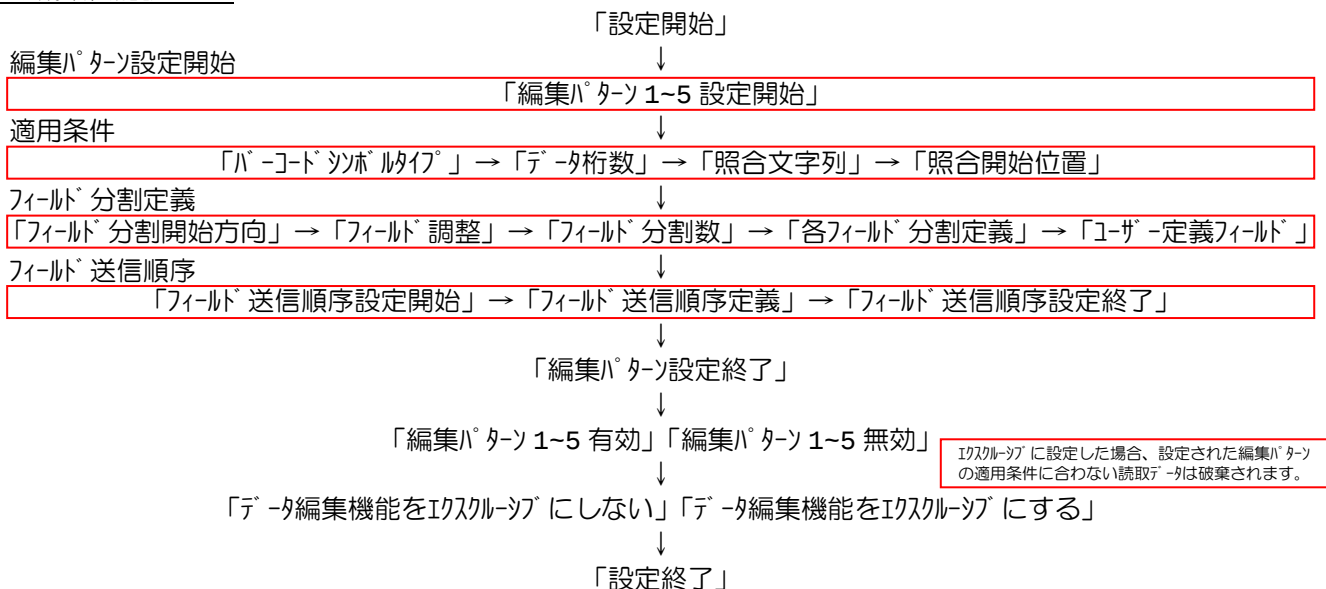
9. データ編集機能に関する設定

データ編集機能を使うことで、読取データを指定条件に従って、フルフィルに編集することができます。
下記にデータ編集機能の特徴を列挙します。

- ✓ 編集パターンを最大 5 パターン(編集パターン 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 編集パターンは、個別に有効/無効に設定することが可能です。
- ✓ 各編集パターンには、下記の適用条件を指定することが可能です。
 - バージョン・シボ・ルタイプ
 - データ桁数
 - 照合文字列・照合文字列位置
- ✓ 文字列照合又は文字数を基準として、読取データを最大 6 フィールドに分割可能です。
- ✓ ユーザー定義フィールドを最大 5 つ(ユーザー定義フィールド 1~5)迄登録することが可能です。
- ✓ 分割したフィールド及びユーザー定義フィールドを任意の順序で送信可能です。
送信順序は、最大 12 フィールドの範囲で定義でき、各フィールドは重複送信することも可能です。

※ データ編集機能を使用した場合の最大データ桁数は、4,084 桁です。但し、マルチバーコード(読取モード)又はマルチバーコードデータが有効な場合は、2,042 桁となります。

データ編集機能設定フロー



9.1. 編集パターン設定開始

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

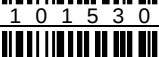
設定を開始する編集パターン1~5の選択		
 109981	編集パターン1	
 109982	編集パターン2	
 109983	編集パターン3	
 109984	編集パターン4	
 109985	編集パターン5	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.2. 適用条件

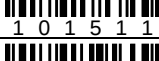
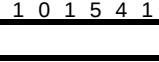
9.2.1. 適用するシリアル

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 109992	全シリアルに適用する	■
 109991	全シリアルに適用しない	
 101512	コードバー-(NW7)に適用しない	
 101513	コードバー-(NW7)に適用する	■
 101500	コード 39 に適用しない	
 101501	コード 39 に適用する	■
 101514	コード 93 に適用しない	
 101515	コード 93 に適用する	■
 101516	コード 128 に適用しない	
 101517	コード 128 に適用する	■
 101518	GS1-128 & GS1 Databar に適用しない	
 101519	GS1-128 & GS1 Databar に適用する	■
 101526	EAN-8 (JAN-8)に適用しない	
 101527	EAN-8 (JAN-8)に適用する	■
 101528	EAN-8 拡張 2 に適用しない	
 101529	EAN-8 拡張 2 に適用する	■
 101530	EAN-8 拡張 5 に適用しない	
 101531	EAN-8 拡張 5 に適用する	■

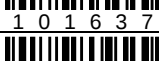
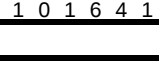
編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 1 5 3 2	EAN-13(JAN-13)に適用しない	
 1 0 1 5 3 3	EAN-13(JAN-13)に適用する	■
 1 0 1 5 3 4	EAN-13 アド カ 2 に適用しない	
 1 0 1 5 3 5	EAN-13 アド カ 2 に適用する	■
 1 0 1 5 3 6	EAN-13 アド カ 5 に適用しない	
 1 0 1 5 3 7	EAN-13 アド カ 5 に適用する	■
 1 0 1 5 0 2	イタリアフォーマット に適用しない	
 1 0 1 5 0 3	イタリアフォーマット に適用する	■
 1 0 1 5 0 6	インド ストリアル 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 0 7	インド ストリアル 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 0 8	インターリーブド 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 0 9	インターリーブド 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 1 0	マトリクス 2/5 に適用しない	
 1 0 1 5 1 1	マトリクス 2/5 に適用する	■
 1 0 1 5 4 4	MSI に適用しない	
 1 0 1 5 4 5	MSI に適用する	■
 1 0 1 5 3 8	UPC-A に適用しない	
 1 0 1 5 3 9	UPC-A に適用する	■
 1 0 1 5 4 0	UPC-A アド カ 2 に適用しない	
 1 0 1 5 4 1	UPC-A アド カ 2 に適用する	■

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

 1 0 1 5 2 2	UPC-E アド カ 2 に適用しない	
 1 0 1 5 2 3	UPC-E アド カ 2 に適用する	■
 1 0 1 5 2 4	UPC-E アド カ 5 に適用しない	
 1 0 1 5 2 5	UPC-E アド カ 5 に適用する	■
 1 0 1 6 2 2	UCC クーポンコード に適用しない	
 1 0 1 6 2 3	UCC クーポンコード に適用する	■
 1 0 1 6 2 6	コード 11 に適用しない	
 1 0 1 6 2 7	コード 11 に適用する	■
 1 0 1 6 2 8	コンポジット CC-A/B に適用しない	
 1 0 1 6 2 9	コンポジット CC-A/B に適用する	■
 1 0 1 6 3 0	コンポジット CC-C に適用しない	
 1 0 1 6 3 1	コンポジット CC-C に適用する	■
 1 0 1 6 3 2	コンポジット TLC-39 に適用しない	
 1 0 1 6 3 3	コンポジット TLC-39 に適用する	■
 1 0 1 6 3 6	US Postnet に適用しない	
 1 0 1 6 3 7	US Postnet に適用する	■
 1 0 1 6 3 8	US Planet に適用しない	
 1 0 1 6 3 9	US Planet に適用する	■
 1 0 1 6 4 0	UK Postal に適用しない	
 1 0 1 6 4 1	UK Postal に適用する	■

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

 101642	日本郵便コード (カヌバ-コード) に適用しない	
 101643	日本郵便コード (カヌバ-コード) に適用する	■
 101652	PDF417 に適用しない	
 101653	PDF417 に適用する	■
 101654	MicroPDF417 に適用しない	
 101655	MicroPDF417 に適用する	■
 101656	Data Matrix に適用しない	
 101657	Data Matrix に適用する	■
 101658	Maxicode に適用しない	
 101659	Maxicode に適用する	■
 101660	QR コード に適用しない	
 101661	QR コード に適用する	■
 101662	MicroQR に適用しない	
 101663	MicroQR に適用する	■
 101664	Aztec に適用しない	
 101665	Aztec に適用する	■

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.2.2. 適用するデータ桁数

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

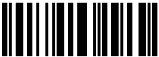
コマンドバーコード	説明	デフォルト
適用するデータ桁数の設定		
 1 0 1 5 6 1	<u>最大データ桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで4桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。	0
 1 0 1 5 6 0	<u>最小データ桁数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで4桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。	0
数値バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.2.3. 適用する照合文字列

設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

適用する照合文字列の設定		
マストバースコード	説明	デフォルト
 101562	照合文字列 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バースコードでASCIIコードをスキャンします。最大4キャラクタが設定可能です。	
適用する照合文字列の照合開始位置の設定		
 101563	照合開始位置 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで3桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は0~4,084です。0を設定した場合は、開始位置に関係無く、照合文字列が読取データ内に存在するかがチェックされます。	
16進数バースコード/数値バースコード		
0  109900	1  109901	
2  109902	3  109903	
4  109904	5  109905	
6  109906	7  109907	
8  109908	9  109909	
A  109910	B  109911	
C  109912	D  109913	
E  109914	F  109915	
確定  109994		

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

※ データ桁数に関わらず適用したい場合は、最大データ桁数及び最小データ桁数を両方0に設定します。

9.3. フィールド 分割定義

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

フィールド 分割開始方向の設定		
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 0 1 6 0 0	<u>先頭から後方へ</u> 読取データの先頭から後方へ向かって、フィールド 分割を行います。	■
 1 0 1 6 0 1	<u>後方から先頭へ</u> 読取データの後方から先頭へ向かって、フィールド 分割を行います。	
フィールド 調整の設定		
 1 0 1 6 0 2	<u>調整しない</u> 調整をおこないません。	■
 1 0 1 6 0 3	<u>調整する</u> 桁数が指定より少ない場合、スペース(20hex)を補填します。	
分割フィールド 数の設定		
 1 0 1 5 9 0	フィールド を 1 つに分割	■
 1 0 1 5 9 1	フィールド を 2 つに分割	
 1 0 1 5 9 2	フィールド を 3 つに分割	
 1 0 1 5 9 3	フィールド を 4 つに分割	
 1 0 1 5 9 4	フィールド を 5 つに分割	
 1 0 1 5 9 5	フィールド を 6 つに分割	

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 1 の分割定義		
コマンド バージョ	説明	デフォルト
 1 0 1 5 6 7	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の 16 進数 バージョ で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。 また、下記のコマンド バージョ で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 6 6	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の数値 バージョ で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4, 084 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 6 5	指定文字列を含めない  1 0 1 5 6 4	
16 進数 バージョ / 数値 バージョ		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 2 の分割定義		
コマンド バ -コード	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 1	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンド バ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 0	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4, 084 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 6 9	指定文字列を含めない  1 0 1 5 6 8	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集バ -ター全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集バ -ター設定終了  1 0 9 9 8 0
---	---

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 3 の分割定義		
コマンド バージョ	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 5	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の 16 進数 バージョ で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。また、下記のコマンド バージョ で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 4	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バージョ をスキャンした後、続けて下記の数値 バージョ で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4, 084 です。	
<u>指定文字列を含める</u>  1 0 1 5 7 3	<u>指定文字列を含めない</u>  1 0 1 5 7 2	
16 進数 バージョ / 数値 バージョ		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 4 の分割定義		
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 1 0 1 5 7 9	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バージョン をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バージョンで ASCII コード をスキャンします。最大 2 文字が設定可能です。 また、下記のコマンド バージョン で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
 1 0 1 5 7 8	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バージョン をスキャンした後、続けて下記の数値バージョンで 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める  1 0 1 5 7 7	指定文字列を含めない  1 0 1 5 7 6	
16 進数バージョン / 数値バージョン		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集バージョン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集バージョン設定終了  1 0 9 9 8 0
---	---

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

各フィールド 分割定義		
フィールド 5 の分割定義		
コマンド バ -コード	説明	デフォルト
101583 	<u>指定文字列で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンします。最大 2 キャラクが設定可能です。 また、下記のコマンド バ -コード で、分割後のフィールド に指定文字列を含めるかどうかを設定します。	
101582 	<u>桁数で分割</u> 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で 3 桁迄の数値をスキャンします。設定範囲は 1~4,084 です。	
指定文字列を含める 101581 	指定文字列を含めない 101580 	
16 進数バ -コード / 数値バ -コード		
0 109900 	1 109901 	
2 109902 	3 109903 	
4 109904 	5 109905 	
6 109906 	7 109907 	
8 109908 	9 109909 	
A 109910 	B 109911 	
C 109912 	D 109913 	
E 109914 	F 109915 	
確定 109994 		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

※ フィールド 5 で分割され残った部分が自動的に、フィールド 6 に割り付けられます。

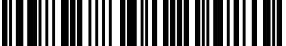
設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

ユーザ定義フィールドの設定		
設定したいユーザ定義フィールドに対応するマストバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンします。最大 4 文字が設定可能です。ポーズフィールドの場合は、ポーズしたい秒数を数値バーコードでスキャンします。範囲は、1~16 で、単位は、秒です。		
ユーザ定義フィールド 1  1 0 1 5 8 4	ユーザ定義フィールド 2  1 0 1 5 8 5	ユーザ定義フィールド 3  1 0 1 5 8 6
ユーザ定義フィールド 4  1 0 1 5 8 7	ユーザ定義フィールド 5  1 0 1 5 8 8	ポーズフィールド  1 0 1 6 0 4
16 進数バーコード		
0  1 0 9 9 0 0	1  1 0 9 9 0 1	
2  1 0 9 9 0 2	3  1 0 9 9 0 3	
4  1 0 9 9 0 4	5  1 0 9 9 0 5	
6  1 0 9 9 0 6	7  1 0 9 9 0 7	
8  1 0 9 9 0 8	9  1 0 9 9 0 9	
A  1 0 9 9 1 0	B  1 0 9 9 1 1	
C  1 0 9 9 1 2	D  1 0 9 9 1 3	
E  1 0 9 9 1 4	F  1 0 9 9 1 5	
確定  1 0 9 9 9 4		

編集パターン全デフォルト  1 0 9 9 9 0	編集パターン設定終了  1 0 9 9 8 0
--	--

- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、SHIFT, CTRL, ALT キーのコンビネーションキー (SHIFT+n, CTRL+n, ALT+n) を定義することができます。SHIFT, CTRL, ALT キーは、1 文字として、加わります。
- ※ 「補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード表」を使って、スキャンコードを最大 4 スキャンコードまで定義することができます。スキャンコードコードは特殊なコードのため、通常は使用しないでください。使用方法については、弊社までご相談ください。

9.4. フィールド送信順序

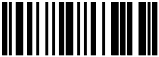
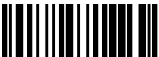
設定開始  8647116687323180	設定キャンセル  109998	設定終了  109999
---	--	---

フィールド送信順序設定開始	
 101589	
フィールド 1  109901	フィールド 2  109902
フィールド 3  109903	フィールド 4  109904
フィールド 5  109905	フィールド 6  109906
ユーザー定義フィールド 1  109907	ユーザー定義フィールド 2  109908
ユーザー定義フィールド 3  109909	ユーザー定義フィールド 4  109910
ユーザー定義フィールド 5  109911	ホースフィールド  109912
フィールド送信順序設定終了	
 109994	

編集パターン全デフォルト  109990	編集パターン設定終了  109980
---	---

9.5. 編集パターンの有効化

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 3 0 0	編集パターン 1 無効	■
 1 0 1 3 0 1	編集パターン 1 有効	
 1 0 1 3 0 2	編集パターン 2 無効	■
 1 0 1 3 0 3	編集パターン 2 有効	
 1 0 1 3 0 4	編集パターン 3 無効	■
 1 0 1 3 0 5	編集パターン 3 有効	
 1 0 1 3 0 6	編集パターン 4 無効	■
 1 0 1 3 0 7	編集パターン 4 有効	
 1 0 1 3 0 8	編集パターン 5 無効	■
 1 0 1 3 0 9	編集パターン 5 有効	
 1 0 1 2 0 0	データ編集機能をエクスクルーゾウにしない	■
 1 0 1 2 0 1	データ編集機能をエクスクルーゾウにする	

※ データ編集機能をエクスクルーゾウに設定した場合、設定された編集パターンの適用条件に合わない読取データは、全て破棄されます。

10. メリ機能

10.1. 通信圏外メリ機能

通信圏外メリ機能を有効にすることで、通信圏外でスキャンされたバーコードデータをメモリに蓄積し、通信圏内に復帰すると、メモリしたデータを自動送信させることができます。メモリが一杯になると、アラート音 (低音ロングビープ) が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

通信圏外メリ機能が無効な状態で、通信圏外でスキャンを行うと、アラート音 (低音ロングビープ) が鳴動し、赤色 LED が一時点灯します。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 1 0 1 6	通信圏外メリ機能 無効	
 1 0 1 0 1 5	通信圏外メリ機能 有効	■

※ 蓄積されたメモリ内のデータは、リーダーの電源が切になったり、電池が完全に無くなってしまうと、消滅します。復帰させることはできませんので、ご注意ください。

10.2. バッチモード

バッチモードを有効にすると、リーダーはスキャンしたバーコードデータを都度無線送信せずに(無線接続無し)、内蔵のフラッシュメモリに蓄積していきます。蓄積したデータは、「メモリデータ送信」で無線送信され、「メモリデータ消去」で消去されます。メモリが一杯になると、リーダーは2回のヨートビープ(高音→低音)を鳴動します。この場合は、「メモリデータ送信」でデータを送信してください。

設定開始  8 6 4 7 1 1 6 6 8 7 3 2 3 1 8 0	設定キャンセル  1 0 9 9 9 8	設定終了  1 0 9 9 9 9
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1 0 0 2 3 6	バッチモード 無効	■
 1 0 0 2 3 7	バッチモード 有効	
 1 0 0 2 3 8	コード間送信デレイ 無し	■
 1 0 0 2 3 9	コード間送信デレイ 250 ミリ秒	
 1 0 0 2 4 0	コード間送信デレイ 500 ミリ秒	
 1 0 0 2 4 1	コード間送信デレイ 1 秒	
 1 0 0 2 4 2	コード間送信デレイ 2 秒	
 1 0 0 2 4 3	コード間送信デレイ 3 秒	
 1 0 0 2 4 4	コード間送信デレイ 5 秒	
 1 0 0 2 4 5	コード間送信デレイ 8 秒	
 1 0 9 9 1 8	メモリデータ送信	
 1 0 9 9 1 6 ↓  1 0 9 9 1 7	メモリデータ消去 メモリ内のデータを全て消去する場合は、上から順番にスキャンします。	

補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表

キーボード / USB キーボード インターフェイス コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0		F2	SP	0	@	P	`	p	(0)
1	INS	F3	!	1	A	Q	a	q	(1)
2	DLT	F4	"	2	B	R	b	r	(2)
3	HOME	F5	#	3	C	S	c	s	(3)
4	END	F6	\$	4	D	T	d	t	(4)
5	UP	F7	%	5	E	U	e	u	(5)
6	DOWN	F8	&	6	F	V	f	v	(6)
7	LEFT	F9	'	7	G	W	g	w	(7)
8	BS	F10	(	8	H	X	h	x	(8)
9	HT	F11	)	9	I	Y	i	y	(9)
A	LF	F12	*	:	J	Z	j	z	
B	RIGHT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	PgUp	Exec	,	<	L	¥	l		
D	CR		-	=	M	]	m	}	
E	PgDn		.	>	N	^	n	~	
F	F1		/	?	O	_	o	DLY	CR*

ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

1. ファンクションキーは、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。
2. CR*はテンキーパッドの ENTER キーを意味します。
3. DLY は 100 ミリ秒のデレイタイムを意味します。
4. (0) ... (9) はテンキーパッドの 0~9 を意味します。
5. 空白部分は未使用のキャラクタです。

補足 B 16 進数バーコード & 特殊キーバーコード 表

設定開始  8647116687323180		設定キャンセル  1 0 9 9 9 8		設定終了  1 0 9 9 9 9	
キータイプ					
ノーマル  1 0 9 9 2 6			スキャンコード  1 0 9 9 3 6		
キーステータス					
SHIFT +  1 0 9 9 3 0			左 CTRL+  1 0 9 9 3 1		
右 CTRL+  1 0 9 9 3 3			左 ALT+  1 0 9 9 3 2		
右 ALT+  1 0 9 9 3 4					
ユーザー定義スキャンコード					
スキャンコード 設定  1 0 9 9 8 8			スキャンコード 確定  1 0 9 9 8 9		
16 進数バーコード					
0  1 0 9 9 0 0			1  1 0 9 9 0 1		
2  1 0 9 9 0 2			3  1 0 9 9 0 3		
4  1 0 9 9 0 4			5  1 0 9 9 0 5		
6  1 0 9 9 0 6			7  1 0 9 9 0 7		
8  1 0 9 9 0 8			9  1 0 9 9 0 9		
A  1 0 9 9 1 0			B  1 0 9 9 1 1		
C  1 0 9 9 1 2			D  1 0 9 9 1 3		
E  1 0 9 9 1 4			F  1 0 9 9 1 5		
確定  1 0 9 9 9 4					

※ キータイプ、キーステータス、ユーザー定義スキャンコードは、キーボードインターフェイス/USBキーボードインターフェイス専用のパラメータです。

補足 C シリアルコマンド

RS232C インターフェイスタイプのリーダはシリアルコマンドに対応しています。
専用シリアルコマンドを送信することでリーダの設定を変更したり、動作を制御することが可能になります。

下記にシリアルコマンドフォーマットを示します。

シリアルコマンドフォーマット

#@nnnnnn<CR> * <CR>はキャリッジリターン 0Dhex

nnnn には、本書のコマンドバーコード 下にある 6 桁の数字が入ります。設定開始コマンドは必要ありません。

例)

<u>#@102242<CR></u>	ゲットリートバンプレタ有り
<u>#@100307<CR></u>	インダストリアル 2/5 読み取り有り
<u>#@109999<CR></u>	設定終了

シリアルコマンドで設定変更を行った場合でも設定終了コマンドを発行せずにリーダの電源を切にすると、設定内容は消えてしまいます。不揮発性メモリに保存したい場合は、電源を切にする前に設定終了コマンドを発行してください。

特別なシリアルコマンド

D 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、動作を一時休止します。

E 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

#@- - - -<CR> 動作休止コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、動作を一時休止します。

#@...<CR> 動作再開コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

#@/////<CR> 読取ブザーコマンド

このコマンドを受信するとリーダは、読取ブザーを鳴らします。この時読取 LED も点灯させます。

#@TRIGON<CR> トリガ ON コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、バーコードの読み取りを開始します。

#@TRIGOFF<CR> トリガ OFF コマンド

このコマンドを受信するとリーダは、バーコードの読み取りを終了します。

※ シリアルコマンドを送信する場合、各コマンド間に最低 500msec の間隔を空けて送信してください。また、設定終了やキャンセルなどリーダのリセット動作を伴うコマンドの場合は、1 秒以上間隔を空けるようにしてください。

補足 D トラブ ルシューティング

電源が入らない

- ✓ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- ✓ PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

バーコードを読み取らない

- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 汚れたバーコード、劣化したプリンタで印刷したバーコード、複写したバーコードなど、品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- ✓ 対象のバーコードタイプを読み取れるように設定していますか？
- ✓ チェックデジットが付加されていないバーコードに対して、チェックデジット検査有りと設定していませんか？
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

バーコードを読み取りづらい

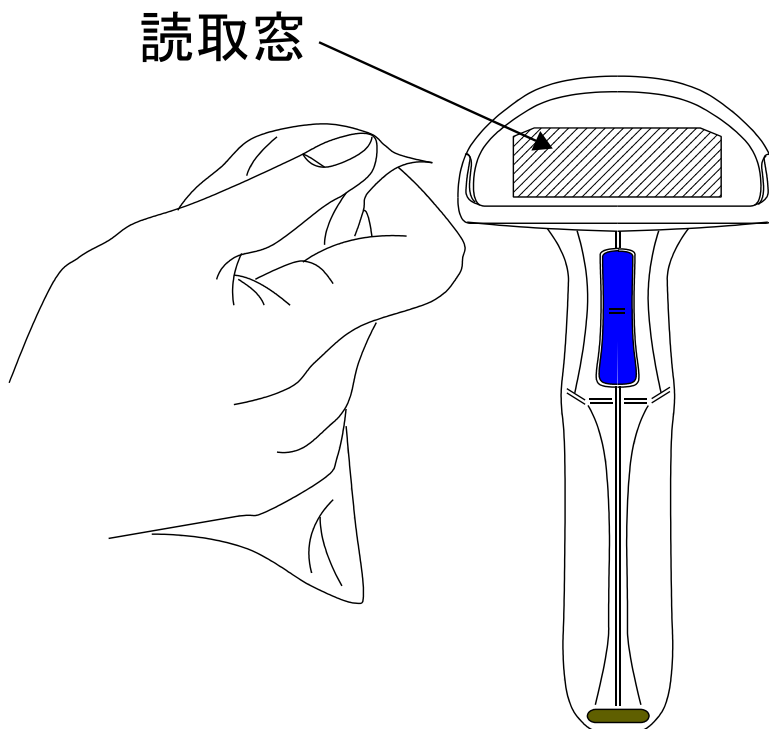
- ✓ 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となります。
- ✓ 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ✓ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ✓ リーダの設定は間違っていないですか？
本書「3. リーダの簡単セットアップ」を参考にリーダの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

その他

- ✓ リーダの読取窓が汚れていると、バーコードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



※ 症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 E サンプルコード

コード 39



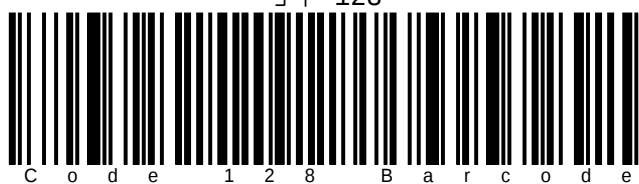
JAN-13



インターピット 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



PDF417



PDF417 Sample

データマトリクス



DataMatrix

Aztec



Aztec

QR(モデル2)



QR CODE MODEL 2

反転 QR(モデル2)



QR Nega

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセルフバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書					
依頼日					
会社名					
部署名					
担当者					
メールアドレス					
電話番号			F A X 番号		
ご住所					
販売店名			ご購入日		
製品型番（名称）					
製造番号（S/N）					
付属品		ケーブル[]・A C アダプタ			
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : インターフェイス : 接続ホスト : ☐ 常に起こる ☐ キーボード ☐ その他 メーカー 型番 ☐ 1日に []回程度 ☐ RS232C [] [] [] ☐ USB]]] その他、使用状況を記入ください。					
返送先					
見積・請求先					
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。				ご確認印	